仙台市音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点

複合施設整備事業に関する公開質問状

２０２６年１０月２３日

仙台市長　郡　　和　子　殿

仙台市民オンブズマン
代　表　　畠　山　　裕　太

第１　はじめに

仙台市は、国際センター駅北地区において、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点を一体的に整備する複合施設の整備を進めています。

令和８年（２０２６年）３月には基本設計が完了し、総事業費は、令和３年度の基本構想に示された３５０億円から増え続け、現在約６４６億円が見込まれているとされています。しかし、これとて確実でなく、増額される可能性があり、さらに、施設完成後も、長期間にわたって運営費、修繕費、設備更新費、市債償還費等が発生します。

運営・事業費は年間約１８億円と見込まれている一方、施設使用料、チケット収入等は合計年間約４億円（協賛金・寄付金等の外部資金も挙げられているが金額不明）と見込まれ、差額約１４億円は、基本的に仙台市が負担することになるとの説明がなされています。

以上のことから、本複合施設に要する金額は６４６億円ではないことは明らかです。

仙台市の文化芸術振興及び震災の記憶・経験の継承の必要性は否定しませんが、仙台市の身の丈にあった施設・活動であるべきです。本複合施設に、際限なく資金をつぎ込むことを手放しで容認する市民はいません。

現在はまだ基本設計が完了した段階であり、建物本体について巨額の建

設費の大部分は、まだ議会の承認も無い状態です。

そうであれば、実施設計に着手して間もない現時点において、現在の計画をそのまま継続するのがよいのか、それとも施設規模や仕様を縮小・変更するのがよいのか、あるいは現在の計画を中止するのがよいのかについて、市民が客観的な数字に基づいて比較検討することが必要であると考えます。

そこで、以下の事項について、公開質問いたします。本件につきましては、仙台市議会において、財源の適切な確保や事業費の縮減に最大限努め、市民へ丁寧な説明を行う旨の附帯意見が可決されていますので、誠実にご回答いただきたくお願いします。

各質問事項について、遅くとも本書面到達後３０日以内に、書面によりご回答くださいますようお願いいたします。

（回答は以下までいただきたくお願いします。）

仙台市青葉区一番町２丁目１１－１２
プレジデント一番町４０２号　小野寺・畠山法律事務所
[redacted]

第２ 質問事項

１ 現時点で事業を中止した場合の損失額

（１）本公開質問状に対する回答日時点で本事業を中止した場合、仙台市に生じる財政上の損失額はいくらになるのかを回答してください。

その際、

① 既に支出済みで回収不能となる金額とその内訳明細

② 未払の契約代金

③ 契約解除に伴う違約金・損害賠償金・精算金

④ 国庫補助金等の返還が必要となる場合の返還額

⑤ 市債の繰上償還等が必要となる場合の金額

⑥　その他中止によって新たに発生する費用

に区分して回答してください。

（２）同様に、実施設計完了後に本複合施設の建設を中止した場合の財政上の損失額についても具体的にご教示ください。

２ 現在の計画を完成させるための事業費

（１）現在公表されている総整備費約６４６億円のうち、本公開質問状への回答日時点までに支出済みの金額を控除し、回答日時点から施設完成までに仙台市が新たに支出しなければならない残事業費の総額を具体的な金額で回答してください。

（２）併せて、

①　実施設計費

②　建築工事費

③　設備工事費

④　外構工事費

⑤　土壌汚染対策費

⑥　関連整備費

⑦　備品購入費

⑧　展示整備費

⑨　工事監理費

⑩　その他

に区分した金額を回答してください。

（３）６４６億円という現在の見込み額については、令和８年１月に発表されたものですが、建設工事費等の積算に用いた単価・物価水準はいつの時点のものを用いましたか回答してください。

その時点から現在までの間、単価・物価水準の上昇がすでにあるのか無いのか、どの程度の変化があるのかを明らかにして下さい。

（４）物価の上昇が止まらない場合、総工事費を縮減するには、仕様等の変更が必要ですが、実施設計完成から工事発注までの間に、事前に市民に情報を開示し、契約するのがよいか、提案、説明、意見を聞く予

定を立てていますか。立てている場合は、そのスケジュール等を具体的にご教示ください。

予定を立てていない場合、そもそもそのような予定を立てるつもりもないのか否かを明確に回答してください。

3 財源について

現時点において、６４６億円の費用のうち、基金からの繰入れが１４７億円、市債発行４７６億円が見込まれています。

事業費の財源については、「国の補助金をはじめ、国の支援が受けられる特別な地方債（脱炭素化推進事業債・地域活性化事業債など）の活用のほか、ふるさと納税などによる資金調達に取組む」「これらを組み合わせて、市の負担をできるだけ少なくしながら、事業を進めていく」とのことですが、

（１）国の補助金については、具体的に受けられる見込みがあるのか、あるとしてどのような種類の補助金を、どの程度、得られる見込みなのか回答してください。

（２）ふるさと納税による資金調達は、どの程度の金額を想定しているのかを回答してください。

（３）国の補助金等が得られた場合、基金からの支出を減らす予定か、市債発行額を減らす予定かを回答してください。

（４）市債について、発行の際の利率をどの程度と見込んでいるか、具体的に回答してください。

（５）償還期間は何年を予定しているか、具体的に回答してください。

（６）利率と償還期間が分かりますと、利息として合計いくら支払うことになるのかが明らかになりますが、上記（１）及び（２）を踏まえ、市債の償還利息額の合計がいくらになる見込みか回答してください。

（７）上記以外にどのような財源を想定しているのかを回答してください。

4 ECI方式について

本複合施設建設に当たっては、ＥＣＩ方式（設計段階から施工者が関与

する方式）を採用するとのことであり、これによって建設コストや工期の縮減を図ることができる旨の説示がありますが

（１）仙台市の説明によれば、ＥＣＩ方式によれば、６４６億円よりも少ない金額で本複合施設が完成するかのような印象を市民に与えます。上記のように理解してよいのか丁寧に説明してください。

（２）建設コストや工期が、どの程度縮減できたのか、については具体的にどのように検証するのかご教示ください。

（３）ＥＣＩ方式の場合、設計段階で関与した施工者と随意契約を締結することになるのでしょうか。かかる場合に、競争入札の場合と比べて、どのようなデメリットが生じうるのか具体的に回答してください。

（４）本複合施設建設にあたり、ＥＣＩ方式が適切であると判断した過程と判断理由を回答してください。

（５）音楽ホールについては、遠くは平成４年の音楽堂基本構想からの企画であったと理解しています。すでに３４年かかっているわけですが、どうしても令和１３年度までに完成させなければならない理由が何かありますか。ある場合はその理由を回答してください。

以上